

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 ウェルフェアネット	代表者	平山 正明	法人・ 事業所 の特徴	「あるがままに たのしく ゆったりと」の家訓のもと今年で 13 年目を迎える。グループホームと併設している。児童館跡地にあり普段から近所の子どもの集いの場となっている。 一人一人の利用者さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域と共に支援をしている。
事業所名	さわやか憩いの家春日	管理者	光武 祐一郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2 人	3 人	4 人	0 人	3 人	2 人	人	5 人	人	14 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
1. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価を早めに行う。 ・会議などで地域評価について伝える機会を増やし反映する。	・自己評価は早くから全スタッフで取り組めた。新任スタッフも多く、分かりにくい所は個別に話し合い進めていった。・地域評価の様式が変わったこともあり、市役所と協力して計画的に説明を行った。	・具体性があり改善に期待できる。・「運営」について意見を言えない職員が多いと思われる。その背景（人間関係・知識不足）を明確にして具体的な改善に繋げてほしい。 ・スタッフの未回答は改善してほしい。	・自己評価の内容について各スタッフの理解を進める。まずはサービス評価の概要に沿って、「自己評価の学習」の勉強会を開催する。
2. 事業所のしつらえ・環境	・地域の行事に月に一度は参加し顔なじみの関係を築く。 ・事業所の行事は主に地域運営推進会議を通してお知らせしていく。	・地域の行事には月に一回くらいで参加させていただいた。・夏祭りや敬老会を推進会議と併せる事で、事業所の様子や環境を見る機会を設けた。	・居心地という質問は、本人でないとわかりにくいと感じた。・休みの時など小学生が遊びにくるのは入りやすい雰囲気があると思われる。	・地区のみなみカフェなど定期的に開催している地域行事に行けるように、勤務や行事計画を組んでいく。
3. 事業所と地域のかかわり	・事業所の年間行事計画を地域の方へもお知らせする。 ・春日支部会の活動に参加、認知症サポーター養成講座を行う。	・養成講座をキッカケに、保育所との関わりが増えた。・事業所の行事は今までと変わらず伝えていったが、ご家族に周知出来ていない部分があった。	・地域がどれくらい認知しているかは分からないが、夏祭りなどの行事に住民が多く参加している姿を見る。・	・年間行事計画において、今年度のように保育所や小学校との関わりも入れて 5 月の会議でお知らせする。 ・家族への周知を工夫する。
4. 運営推進会議を活かした取組み	・会議後に自由参加の茶話会をするなど気軽に話せる雰囲気づくりを行う。	・行事や利用者家族会と併せて開催することで、いつもと違った雰囲気作りになった。・地域からのアイデアを取り入れ、玄関に鈴を付けた。	・玄関のベルの改善は良いと思われる。・推進会議自体のあり方を、参加者と協議しても良いのでは？ 議題や時間など改善出来ると思われる。	・地域に開かれたサービス、そのサービスの質の確保の為に、この会議の進め方について参加者の皆さんと協議する時間を作る。
5. 事業所の防災・災害対策	・地区の防災訓練には参加する。 ・事業所の訓練は早めに地域へお知らせ出来るようにチラシを作成する。	・地区の訓練には参加出来なかった。 ・事業所訓練の周知は遅かった。・訓練方法や備蓄品を見直し増加した。	・十分に取り組んでいると思われるが、訓練時の案内の周知を地域向け家族向けと強化してほしい。	・防災訓練のチラシは早く作成し、家族と地域とお知らせする。